

北九港&空 NEWS

第4号

発行 国土交通省 九州地方整備局
北九州港湾・空港整備事務所
801-0841 北九州市門司区西海岸 1-4-40
Tel : 093-321-4632 Fax : 093-322-1007

岸壁を後ろから引っ張っています。

老朽化対策改良工事実施中 ~ 田野浦地区 ~

昭和40年代から活躍

田野浦地区は昭和40年代に竣工し、西日本初のコンテナターミナルやセメント輸送基地など港湾物流、生産活動の拠点として古くから北九州港の中でも重要な役割を担ってきた。現在は、中古車の輸出や国内外 RORO 船の基地として精密機械等を扱っています。

しかしながら、整備後40年経過した施設も多く、エプロン陥没に伴う荷役制限など施設の劣化により港湾荷役に支障が生じていました。

工事概要

本工事では、老朽化した既設岸壁の港湾荷役機能の回復を図るとともに、現在の貨物取扱に対応した施設配置に再編するための改良工事を実施しています。改良内容は、既設岸壁を3m沖側に展開します。現在、既存の岸壁の前面に連続して鋼管矢板を打設し、岸壁背後からタイ材（岸壁前面の鋼管が海側に倒れないように引っ張る鋼材75mm）で緊張する作業を行っています。現在、510mの内、168mを整備中です。



工事状況

既設岸壁を改良するため、岸壁の利用者調整等の厳しい現場条件の中、岸壁前面の鋼管矢板、背面の鋼矢板を打設後、タイ材で緊張し、その後、矢板頭部のコンクリート打設後、岸壁背後の土砂埋め戻しが完了し、今後、コンクリート舗装を施工する予定です。



タイ材緊張状況



上部コンクリート施工状況



現在

江戸時代には北前船の寄港地下関の補助港(1700年頃から)として利用されていたほか、御用蔵3棟があり、御用米その他産物の貯蔵と積み出しが行われていました。

大正期より港湾整備が進められてきましたが、戦後、米軍に港湾施設の多くを接収された門司港地区の代替港として位置づけられ大きく飛躍。

昭和46年には、神戸以西で初めてとなる田野浦コンテナターミナルが開設されました。

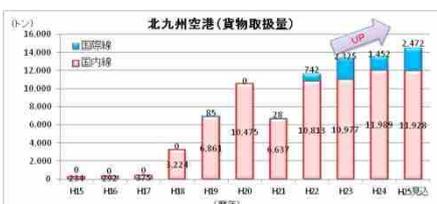
コンテナターミナルは平成15年に廃止され、現在は中古自動車や精密機械等を輸出する基地として活用されています。

北九州空港トピックス

貨物便航路も拡大 ・ Sea & Air も (米人工衛星)

航空旅客・貨物の状況

今年の1月から9月までの旅客について、前年比約7.8%増加しています。また、貨物についても前年比約9.5%増加しています。旅客、貨物とも国際線が大きく寄与しています。



国際定期貨物増便(2航路化)

日本貨物航空(株)(B747-400F)による仁川(韓国) - 北九州 - 成田との路線が、今年5月から週1便(土曜日)の貨物定期便となりましたが、11月21日より新規に桃園(台湾) - 北九州 - 成田との路線が定期便化(木曜日)されました。これにより貨物定期便が週2便となり、北九州空港の利便性が向上されます。



人工衛星飛来(Sea & Air)

11月24日(日)に米国(NASAゴダード飛行センター)から超大型長距離輸送機(C-5Cキヤラク)により人工衛星を北九州空港に空輸。

空港島内に整備されている資材等搬入岸壁を利用して種子島まで海上輸送する、北九州空港初のSea & Air輸送が行われました。



浚渫土砂処分のための工夫・技術開発

～ 新門司沖土砂処分場の整備状況 ～

すでに 2,700万㎡受け入れ

新門司沖土砂処分場は、約 3km 沖合の周防灘に造成された人工島です。

平成 6 年 11 月に外周護岸築造に着手し、全体を 3 分割して順番に造成が進められ、平成 11 年に 1 工区、14 年に 2 工区の埋立が完了しました。先行して埋め立てられていた隣接する苅田沖土砂処分場も利用して造られた北九州空港（平成 18 年 3 月開港）の滑走路等空港用地、緑地、道路用地として有効活用されています。

残る 3 工区（1,485m × 470m）は、新空港開港後も、周辺港湾・航路の整備で発生する土砂の処分場として活用されています。



工事概要

ここは関門航路及び新門司航路の整備において発生する浚渫土砂の処分場所となっていますが、受入容量が厳しくなってきたため、この土砂処分場の延命化を目的として、（ステップ 1）水分を多く含む処分場内の埋立土砂を採取し、処分場容量を確保するとともに、（ステップ 2）採取した土砂を機械的に脱水し、間隙水が抜かれ容積が減少した脱水処理土を製作しています。この脱水処理土を構造材として護岸高上げに活用したことは、国内初の試みです。

（ステップ1）土取り



（ステップ2）築堤施工



トピックス

西海岸に『白鳥』と『貴婦人』現る

「日本丸」「海王丸」北九州港寄港

独立行政法人航海訓練所の「太平洋の白鳥」と称される世界最大級の帆船「日本丸」と「海の貴婦人」と称される「海王丸」が 11 月 16・17 日の 2 日間、北九州港に寄港しました。

14 年ぶりとなる 2 隻同時公開となり、船内の一般公開や約 100 人の実習生によるセイルドリル（操帆訓練）が実施され、1 万人超の多くの市民で賑わいました。



西海岸に停泊する日本丸(手前)と海王丸

「津村島緑地」オープン

10 月 20 日、新門司地区のフェリーターミナルの近くに「津村島緑地」がオープンしました。

埋立地に取り囲まれるように残された緑豊かな島とその周辺の水面を眺望できる緑地の誕生です。

津村島には神様の恋にまつわる昔話があり、案内板には松ヶ江北小学校の児童による島の歴史がわかりやすく紹介されています。ぜひ、お立ち寄りを。

神様の恋にまつわる昔話

その昔、美しい津村島の女神（津村明神）を苅田沖の神島（こうのしま）の男神と喜多川の蕪島の男神が争っていたが、曾根沖の間島の老神が仲裁に入り、津村明神は蕪島神に嫁ぎ、神島神には間島神の娘が嫁いだという伝説が残っている。



『編集後記』

寒さも厳しくなってきました。寒さに合わせてカキ小屋オープンし、多くの人で賑わっています。豊前海で獲れた「豊前海一粒かき」、とっても美味です。もう、皆さんも食べられましたか。



「北九港&空 NEWS 第 4 号」を発刊しましたので配布させていただきます。